

2020年11月15日(日)朝10:10  
11月第3共同主日礼拝式説教

降誕前第6、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

# 説教題：死と復活を担われる主・真の神の子 (21～)

聖書: マタイ 16章21～23節

<口語訳>

新約聖書26～ 頁

マタイ 16章21～23節

<新共同訳>

新約聖書32～ 頁

マタイ 16章21～23節

<新改訳第3版>

新約聖書32～33頁

マタイ 16章21～23節

<塚本訳>

新約聖書117～118頁

主題: 主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。
- ◇本日は、**マタイ16:21～23節**の箇所から、「**神(天)の国**」「**神の真理・真実**」の隠された奥義を心にとめたいと思います。
- ⇒「**死と復活を担われる主・真の神の子(21～)**」は、「**御子イエス・キリスト様**」が、弟子たちに十字架の死を予告された「**真の神の子**」であることを意味します。
- ⇒弟子を代表して、ペテロは、主を諫め、主から「**引っ込んでろ、悪魔、この邪魔者！お前は神様のことを考えずに、人間のことを考えている！**」と、お叱りを受けます。
- ⇒これは、他のユダヤ人同様、栄光の**王なる救い主(メシヤ)**を求め、十字架の主を望んでいなかったからです。
- ⇒主は、ペテロをはじめ、弟子たちが、「**悪霊・悪魔**」の下にあることを示されたのです。

本論；

◇本日、**マタイ書16:21～23節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ16章21～23節**；使徒**マタイ**は、「**死と復活を担われる主・真の神の子**(21～)」との主のみことばを通して、「**神(天)の国**」の隠されている「**神の真理・真実**」を示しています。

◇**16:21～23節**；塚本訳◆**受難の予告第一**

「21 この時から、イエスは自分が(神の計画どおり)エルサレムに行って、長老、大祭司連、聖書学者たちから多くの苦しみをうけ、殺され、そして三日目に復活せねばならないことを弟子たちに示し始められた。

22 するとペテロはイエスをわきへ引っ張って行って、「主よ、とんでもない。そんなことは絶対にいけません！」と言って忠告を始めた。(救世主が死ぬなどとは考えられなかったのである。)

23 イエスは振り返って、ペテロに言われた、「引っ込んでろ、悪魔、この邪魔者！お前は神様のことを考えずに、人間のことを考えている！」と、**使徒マタイ**は主のことばを語って

います。

◇**マタイ16:21～23節**では、「この時から、イエスは自分が(神の計画どおり)エルサレムに行って、長老、大祭司連、聖書学者たちから多くの苦しみをうけ、殺され、そして三日目に復活せねばならないことを弟子たちに示し始められた(21)。「するとペテロはイエスをわきへ引っ張っていって、「主よ、とんでもない。そんなことは絶対にいけません！」と言って忠告を始めた。(救世主が死ぬなどとは考えられなかったのである。)(22)」と、「**御子イエス・キリスト様**」が、「ご自身の死と復活」について、語られた時、「ペテロはイエスをわきへ引っ張っていって、「主よ、とんでもない。そんなことは絶対にいけません！」と言って忠告を始めた。(救世主が死ぬなどとは考えられなかったのである。)」と、あります。

⇒「ペテロ」は、「**御子イエス・キリスト様**」が、自分たちの考える「**王なる救い主(メシヤ)**」の姿と違っていると、主を諫め始めたのです。

⇒主は、「**悪霊・悪魔**」が、ペテロの心を占領していることを見ぬかれました。

- ⇒「**悪霊・悪魔**」は、アダムとエバを誘惑したり、荒野で、「**御子イエス・キリスト様**」を3日3夜試みました。
- ⇒「**悪霊・悪魔**」は、アダムとエバに主が食べることを禁じられた木の実を食べたいようにさせたのです。食欲とゆう欲望で、誘惑したのです。食べることが、罪ではなく、「**悪霊・悪魔**」が、主が禁じられた木の実を食べよう誘惑した時、**神のみ声**を聞くことをせず、自己判断で行動したことでした。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ペテロに、「振り返って、ペテロに言われた、「引っ込んでろ、悪魔、この邪魔者！お前は神様のことを考えずに、人間のことを考えている！」と、仰せになり、ペテロが、**神**が、「**御子イエス・キリスト様**」のために、用意された道＝歩みの妨げになっていると仰せになったのです。
- ⇒私たちも、ペテロ以上に愚かで、主の御意を聴くことなく、行動し、「**御子イエス・キリスト様**」の思いを悲しませています。
- ⇒主は、落ち込むことを望まず、罪を悔い改めて、主を讃美することをお望みです。

⇒礼拝は、罪のない立派な人だけのものではなく、罪汚れた者が、ひれ伏して、主の憐れみを求める場です。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ペテロが、「**悪霊・悪魔**」に心を奪われていることが、悲しかったのです。決して見捨てられるのではなく、むしろ、主の思いをもって生きることを期待しておられたのです。

⇒ロマ6:6～11【口語訳】

- 6 わたしたちは、この事を知っている。わたしたちの内の古き人はキリストと共に十字架につけられた。それは、この罪のからだが減び、わたしたちがもはや、罪の奴隷となることがないためである。
- 7 それは、すでに死んだ者は、罪から解放されているからである。
- 8 もしわたしたちが、キリストと共に死んだなら、また彼と共に生きることを信じる。
- 9 キリストは死人の中からよみがえらされて、もはや死ぬことがなく、死はもはや彼を支配しないことを、知っているからである。
- 10 なぜなら、キリストが死んだのは、ただ一度

罪に対して死んだのであり、キリストが生きるのは、神に生きるのだからである。

- 11 このように、あなたがた自身も、罪に対して死んだ者であり、キリスト・イエスにあって神に生きている者であることを、認むべきである。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日は、**マタイ16:21～23節**の箇所から、「**神(天)の国**」「**神の真理・真実**」の隠された奥義を心にとめたいと思います。
- ⇒「**死と復活を担われる主・真の神の子(21～)**」は、「**御子イエス・キリスト様**」が、弟子たちに十字架の死を予告された「**真の神の子**」であることを意味します。
- ⇒弟子を代表して、ペテロは、主を諫め、主から「引っ込んでろ、悪魔、この邪魔者！お前は神様のことを考えずに、人間のことを考えている！」と、お叱りを受けます。
- ⇒これは、他のユダヤ人同様、栄光の**王なる救い主(メシヤ)**を求め、十字架の主を望んでいなかったからです。



⇒主は、ペテロをはじめ、弟子たちが、「**悪霊・悪魔**」の下にあることを示されたのです。

⇒イザヤ53:10～12;【口語訳】

10 しかも彼を砕くことは主のみ旨であり、主は彼を悩まされた。彼が自分を、とがの供え物となすとき、その子孫を見ることができ、その命をながくすることができる。かつ主のみ旨が彼の手によって栄える。

11 彼は自分の魂の苦しみにより光を見て満足する。義なるわがしもべはその知識によって、多くの人を義とし、また彼らの不義を負う。

12 それゆえ、わたしは彼に大いなる者と共に物を分かち取らせる。彼は強い者と共に獲物を分かち取る。これは彼が死にいたるまで、自分の魂をそそぎだし、とがある者と共に数えられたからである。しかも彼は多くの人を罪を負い、とがある者のためにとりなしをした。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、キリストゆえ、死を担って下さいました。身を低くして、主の愛と真実に感謝し、讃美させていただきます。